

第72回 全国 民俗芸能 大会

THE NATIONAL FOLK
PERFORMING ARTS
FESTIVAL 2025



令和7年度文化庁補助事業



青森県の
「よだ祭」の
「うさぎ」(うさぎ)



広島県の
「菊葉祭」(菊葉)



奈良県の
「七夕祭」(七夕)



静岡県の
「お化け屋敷」(お化け屋敷)

2025
11
22
土

【会場】東京・神宮外苑

日本青年館ホール

【本公演】13時～16時30分(開場12時)
【特別公演】17時30分～19時 ※全席自由・途中入退場自由

本公演・特別公演
通し券

●ネット購入 15000円

購入サイト「TICKET」にて11月22日19時まで販売します。下記QRコードか
C.R.より購入し、お支払い後に発行されるQRコードを、スマホ画面か紙に
印刷して当日受付にて提示ください。 <https://ticket.jp/1458/54361>

●当日券購入 20000円 当日12時より受付にて販売します。

●学生無料 「TICKET」で購入し、当日受付にて学生証を提示ください。

購入サイト



主催：一般財団法人日本青年館／全国民俗芸能保存振興市町村連盟 後援：新宿区

大正14(1925)年10月、初代日本青年館の開館記念事業、日本青年館ホールのこけら落としとして、「郷土舞踊と民謡の会」が開催され好評を博します。地域の中でのみ伝えられてきた芸能を「東京の舞台で、そのままの形で披露する」。100年前の人々にとって、それはどれほど魅力的に映ったことでしょう。この会は、当財団の事業として昭和11(1936)年まで10回にわたり開催されました。

昭和25(1950)年、戦中戦後の中断を経て、文部省芸術祭の主催公演として「第1回全国郷土芸能大会」が開催され、それが今日の全国民俗芸能大会の出発点となりました。

能大会の出発点となりました。

今大会では、福島県浪江町・埼玉県久喜市・静岡県西伊豆町・愛媛県宇和島市の4地域の芸能にご出演いただきます。本公演後に続く特別公演では、静岡県西伊豆町の人形三番叟が再度登場します。同じ伊豆でも地域により異なる人形使いを実演と解説を交えて披露していただき、より深く鑑賞していただけるプログラムをご用意しました。

「地域で演じられているそのままを舞台に」。それは100年前も今日も変わらない全国民俗芸能大会の姿勢です。どうぞお楽しみください。

●本公演【13:00～16:30】※各団体の上演時間は目安です



よしまつり ね ぎょうじ しかおど
吉田祭のお練り行事の鹿踊り(鹿の子)

立間鹿の子保存会(愛媛県宇和島市)【13:30～】

「吉田祭のお練り行事」は、「練物」と呼ばれる多彩な出し物が行列を組み、町を練り歩く祭礼行事です。「練物」のひとつの「鹿踊り(鹿の子)」は、親鹿が2頭、若鹿が2頭、雌鹿が1頭、小鹿が2頭の都合7人によって踊られます。踊りの内容は、素朴で力強く、しかも哀調をおびているといわれます。(国指定重要無形民俗文化財)



わしのみやさいばらかくら
鷺宮催馬楽神楽

鷺宮催馬楽神楽保存会(埼玉県久喜市)【13:55～】

鷺宮催馬楽神楽は、関東神楽の源流といわれ、曲目の大半は、『古事記』と『日本書紀』の神話を題材としています。演劇的な要素が強い江戸の里神楽に対し、演劇的な要素はなく一種の舞踏劇となっています。古い祭りの儀式や作法をしのばせる格式をもつ典雅な舞が特徴です。(国指定重要無形民俗文化財) 〈演目〉第2座 天心一貫本末神楽歌催馬楽之段/第11座 鎮悪神発弓勅負之段



みなみつしま たうえおど
南津島の田植踊り

南津島郷土芸術保存会(福島県浪江町)【14:55～】

約200年前より伝わる芸能です。東日本大震災により、ふるさとが帰還困難区域となり、保存会会員の多くが避難生活を続けています。踊り手は男性に限られていましたが、現在は女性や若者も加え、東北学院大学の学生の協力も得て、芸能を未来へつなげる努力を続けています。

〈演目〉田植踊/神楽・岡崎



かいなのしんめいじんじゃ にんぎょうさんばそう
海名野神明神社の人形三番叟

海名野神明神社式三番叟保存会勇義社(静岡県西伊豆町)【15:45～】

仁科川上流の海名野神明神社の人形三番叟は、300年超の歴史があり、毎年11月に行われる秋祭りで夕朝2度奉納します。3体の人形の内、千歳(せんざい)と翁は、日本で最も古い操り方とされる「裾突っ込み式」による一人遣いで舞います。この操り方は、全国的に見ても他にほとんど類例がなく、貴重なものとなっています。

●特別公演 伊豆の人形三番叟【17:30～19:00】

伊豆半島では三番叟が広く分布し、地域の若い衆によって今日まで傳承されてきました。なかでも西伊豆・南伊豆地域では、人形による三番叟がいくつか傳承されており、この地域の特徴とされています。

特別公演では、海名野神明神社の人形三番叟を中心に、他地域の例も紹介しながら、その歴史や人形の形式・操り方・舞台構成などについて、映像を交えて解説、実演を行います。

同じ人形三番叟でも細部には違いが見られるため、ぜひその違いに注目してご覧ください。

●特別企画 スケッチ記録展(会場:ホールホワイエ)

全国民俗芸能大会では、映像記録だけでなく、音楽記録やスケッチ記録にも取り組んできました。今回は、第70回全国民俗芸能大会のスケッチ記録から19点を公開します。衣装や道具類を採寸し、場合によっては展開図を作成、サイズなどを綿密に記録してきたスケッチは、「記録」の域にとどまらないアート作品でもあります。



●交通案内

東京メトロ銀座線: 外苑前駅2b出口 徒歩5分
都営大江戸線: 国立競技場駅A2出口 徒歩10分
JR中央・総武線: 千駄ヶ谷駅/信濃町駅 徒歩12分

●お問い合わせ先(日本青年館公益事業部)

TEL 03-6452-9012 / FAX 03-6452-9026
E-mail koueki@nippon-seinenkan.or.jp